

今春以降の国内外情勢

「インサイドライン」編集長 歳川隆雄

- * 安倍3選に黄色信号灯る
- * 財務省人事にも波及は必至
- * 財務省の不可解な対応
- * 見え隠れする官邸内の思惑
- * 総裁選を巡る自民党派閥にも動揺
- * 安倍氏に起死回生策はあるのか
- * 米・北朝鮮にある水面下の交渉ルート
- * 水面下ルートに介在する人物たち
- * 日本外しの流れをどうするか
- * ニューヨーク・タイムスは再選はなしと報道



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
ほぼ1年ぶりにインサイドラインの歳川さんに来ていただきました。日本は安倍1強体制がたいへん大きく揺らぎ、トランプ政権も大きな動きが出て、さらに米朝関係ということになっております。その意味で今日の講演はベストタイミングでございまして、皆さんのお知りになりたいことをファクトを基にお話しただけだと思います。それでは歳川さんよろしくお願いたします。（拍手）

安倍3選に黄色信号灯る

歳川 皆さんこんにちは。
昨年も3月でした。講演要請の依頼というのは普通1カ月前から2カ月前ぐらい前にあります

て、日程調整をして決まります。今回の今日の講演の日程は昨年末に事務当局から依頼がございました。すなわち、経済倶楽部事務局は昨年末に2018年3月、この時点に大変なことが起きるのではないかという（笑）、鋭い予想をなさったうえで私のもとにご依頼があったものと推察しております。（拍手）

今日はお話しすべきことは内政、外交多々ございます。両方時間の許す限り、私が今考え判断していること及びその判断、考えることの基になる情報等をご披露したいと思います。

まずは若干手前みそでございますが、私は『週刊東洋経済』に月1回、政治のコラムを持っております。2週間前に掲載されたものに冒頭次のように書いております。「永田町には